2026年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月3日

上場会社名　　株式会社あみやき亭　　上場取引所　東 名
コード番号　　2753　　ＵＲＬ　https://www.amiyakitei.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役会長兼社長　　（氏名）佐藤　啓介
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　　（氏名）千々和　康　　ＴＥＬ　0568-32-8800
配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第１四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第１四半期	8,981	2.7	505	△27.1	524	△26.6	272	△35.9
2025年３月期第１四半期	8,741	14.9	693	144.5	715	140.3	426	141.5

（注）包括利益　2026年３月期第１四半期　272百万円（△35.9%）　2025年３月期第１四半期　426百万円（141.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第１四半期	13.29	13.28
2025年３月期第１四半期	20.74	－

（注）当社は、2024年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期第１四半期	27,502	21,866	79.5
2025年３月期	27,810	21,941	78.9

（参考）自己資本　2026年３月期第１四半期　21,864百万円　2025年３月期　21,939百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	－	51.00	－	17.00	－
2026年３月期	－				
2026年３月期（予想）		17.00	－	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
当社は、2024年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。2025年３月期第２四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年３月期期末の配当金は51円、年間配当金合計は102円であり、2026年３月期第２四半期末及び期末の配当金（予想）はそれぞれ51円であり、年間配当金合計は102円になります。

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	19,100	8.6	1,420	5.3	1,460	5.5	930	13.4	45.27
通期	38,800	9.8	2,910	10.3	3,000	10.0	1,910	10.0	92.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期１Ｑ	20,546,400株	2025年３月期	20,546,400株
② 期末自己株式数	2026年３月期１Ｑ	630株	2025年３月期	1,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期１Ｑ	20,545,170株	2025年３月期１Ｑ	20,544,870株

※当社は、2024年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当四半期の経営成績の概況 ……2
（２）当四半期の財政状態の概況 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……8
(セグメント情報等の注記) ……8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……10
(継続企業の前提に関する注記) ……10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) ……10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間（2025年４月１日～2025年６月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復が続いております。一方で、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども景気を下押しするリスクとなっており、また、米国の通商政策、金融資本市場の変動等及び中東情勢の緊迫化の影響も懸念され、先行きの不透明感は増しております。

外食産業におきましては、インバウンド需要は引き続き堅調であり、原材料費、人件費及び光熱費の高騰を受けた価格改定による客単価の上昇はあるものの、物価に対する先行きの懸念はいまだ根強く、消費者マインドは弱含んでおります。

このような事業環境のなか、当社グループは主力の焼肉事業において、お客様の人気が高い高品質かつ旨味のある赤身志向にお応えするために、和牛の「一頭買い」の導入比率を高め、商品ラインナップの拡大と仕入れの効率化を実現いたしました。また、高額で希少な部位等も、従来と比較してより付加価値が高く、鮮度も良く、おいしい商品としてお手頃な価格で提供することを実現いたしました。

店舗数につきましては、３店舗（レストラン事業３店舗）を新規出店し、１店舗（レストラン事業１店舗）を業態変更し、１店舗（焼肉事業１店舗）を移転オープンしたほか、５店舗（焼肉事業３店舗、焼鳥事業２店舗）を撤退した結果、当第１四半期連結会計期間末の店舗数は286店舗となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は8,981百万円（前年同期比2.7％増）となった一方で、メニュー価格改定以上の原材料価格の高騰等による売上原価率の上昇に加え、M&Aに伴うアドバイザリー費用等の一過性のコストを計上した結果、営業利益505百万円（前年同期比27.1％減）、経常利益524百万円（前年同期比26.6％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益272百万円（前年同期比35.9％減）となりました。

なお、2025年６月２日にクーデションカンパニー株式会社（以下、「クーデション」という。）の全株式を取得しております。現在、当社グループは、中部・関東・関西（滋賀）エリアに合計286店舗(2025年６月末現在)を展開しており、クーデションの主力出店地域である京都エリアは、これまで当社グループの出店がないエリアでありましたが、本件株式取得により、今後、関西エリアへの本格的な出店の足掛かりとなり営業基盤を強化できること、また、クーデションは、自社セントラルキッチンを活用した肉のカットを行うなど当社グループで展開する業態及びビジネスモデルと親和性が高いため、食材の共通化やオペレーションの共通化などでシナジーを創出できると考えており、当社グループの一層の成長を図り、グループ全体の価値向上につなげてまいります。
詳細につきましては、2025年５月12日の適時開示である「クーデションカンパニー株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。
また、クーデションは2025年８月31日をみなし取得日として連結子会社となりますので、当第１四半期連結会計期間末においては連結の範囲に含めておりません。

＜焼肉事業＞
焼肉事業の当第１四半期連結会計期間末の店舗数は、160店舗であります。
内訳は、「あみやき亭」87店舗、「あみやき亭PLUS」７店舗、「どんどん」８店舗、「ほるたん屋」13店舗、「スエヒロ館」20店舗、「かるび家」１店舗、「ブラックホール」４店舗、「ホルモン青木」８店舗、「ホルモンセンター」他11店舗、「百名山」１店舗であります。

以上の結果、焼肉事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は、5,335百万円（前年同期比5.1％減）となりました。

＜焼鳥事業＞
焼鳥事業の当第１四半期連結会計期間末の店舗数は、50店舗であります。
内訳は、「美濃路」36店舗、「みの路」６店舗、「もつしげ」８店舗であります。

以上の結果、焼鳥事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は、967百万円（前年同期比3.9％増）となりました。

＜レストラン事業＞
レストラン事業の当第１四半期連結会計期間末の店舗数は、63店舗であります。
内訳は、「感動の肉と米」48店舗、レストラン「スエヒロ館」15店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は2,293百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

＜その他の事業＞
その他事業の当第１四半期連結会計期間末の店舗数は、13店舗であります。
内訳は、精肉小売店「お肉の工場直売市」１店舗、和牛しゃぶしゃぶ・ステーキ「喜楽」１店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」２店舗、居酒屋「楽市」２店舗、寿司業態の「すしまみれ」２店舗、ダイニング１店舗、「とりとん」他４店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当第１四半期連結累計期間の売上高は385百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況
当第１四半期連結会計期間末の総資産額は、27,502百万円となり、前連結会計年度末と比較し、308百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。
負債総額は、5,636百万円となり、前連結会計年度末と比較し、233百万円減少しました。主な要因は短期借入金の減少によるものです。
純資産額は、21,866百万円となり、前連結会計年度末と比較し、74百万円減少しました。主な要因は利益剰余金の減少によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
連結業績予想については、2025年４月４日の「2025年３月期決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,483	7,938
預け金	368	317
売掛金	13	18
商品及び製品	106	105
原材料及び貯蔵品	1,068	694
未収入金	984	907
その他	295	351
流動資産合計	12,319	10,333
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,055	5,249
構築物（純額）	347	372
機械及び装置（純額）	330	341
車両運搬具（純額）	7	6
工具、器具及び備品（純額）	303	308
土地	3,009	3,045
建設仮勘定	16	49
有形固定資産合計	9,069	9,373
無形固定資産		
ソフトウエア	15	14
のれん	2,108	2,058
その他	9	9
無形固定資産合計	2,133	2,081
投資その他の資産		
投資有価証券	－	1,450
長期貸付金	521	513
繰延税金資産	1,227	1,209
差入保証金	1,434	1,433
投資不動産	290	290
その他	813	816
投資その他の資産合計	4,287	5,713
固定資産合計	15,491	17,169
資産合計	27,810	27,502

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,316	1,100
短期借入金	300	－
１年内償還予定の社債	30	30
１年内返済予定の長期借入金	104	101
未払金及び未払費用	1,403	1,551
未払法人税等	469	234
契約負債	133	158
賞与引当金	111	196
株主優待引当金	13	42
その他	528	781
流動負債合計	4,411	4,197
固定負債		
長期借入金	271	255
リース債務	606	598
退職給付に係る負債	7	8
資産除去債務	502	506
その他	70	70
固定負債合計	1,458	1,438
負債合計	5,869	5,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,427
利益剰余金	17,040	16,964
自己株式	△2	△0
株主資本合計	21,939	21,864
新株予約権	2	2
純資産合計	21,941	21,866
負債純資産合計	27,810	27,502

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
売上高	8,741	8,981
売上原価	3,327	3,630
売上総利益	5,414	5,351
販売費及び一般管理費	4,721	4,846
営業利益	693	505
営業外収益		
受取利息	2	4
受取賃貸料	8	8
協賛金収入	8	2
その他	5	7
営業外収益合計	24	22
営業外費用		
支払利息	1	0
匿名組合投資損失	1	0
不動産賃貸費用	0	0
その他	－	2
営業外費用合計	3	3
経常利益	715	524
特別利益		
固定資産売却益	－	0
受取保険金	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	22	6
減損損失	9	22
賃貸借契約解約損	－	1
その他	1	－
特別損失合計	33	30
税金等調整前四半期純利益	682	494
法人税、住民税及び事業税	200	203
法人税等調整額	55	18
法人税等合計	255	221
四半期純利益	426	272
親会社株主に帰属する四半期純利益	426	272

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
四半期純利益	426	272
四半期包括利益	426	272
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	426	272

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	レストラン事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,620	931	1,793	8,344	397	8,741
外部顧客への売上高	5,620	931	1,793	8,344	397	8,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	5,620	931	1,793	8,344	397	8,741
セグメント利益	452	90	179	722	19	742

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	722
「その他」の区分の利益	19
全社費用（注）	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	693

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「焼肉事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第１四半期連結累計期間においては9百万円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	レストラン事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,335	967	2,293	8,596	385	8,981
外部顧客への売上高	5,335	967	2,293	8,596	385	8,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	5,335	967	2,293	8,596	385	8,981
セグメント利益	294	88	158	540	13	554

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	540
「その他」の区分の利益	13
全社費用（注）	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	505

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「その他事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第１四半期連結累計期間においては22百万円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
減価償却費	189百万円	197百万円
のれんの償却額	50百万円	50百万円